

茨城県立歴史館 2階ギャラリー展 西塩子の回り舞台

記録上、現存最古の組立式農村舞台であり、県指定有形民俗文化財である常陸大宮市の「西塩子の回り舞台」。同舞台は昭和時代に一度途絶え、平成9年、約半世紀ぶりに復活しました。本展では、西塩子の回り舞台の文政期(1818-1831)から現在までの継承の軌跡を、芸術写真と舞台道具等の実物資料から読み解きます。

当館では、2階ギャラリー展西塩子の回り舞台を、下記のとおり開催いたします。ぜひ、御取材ください。

記

- 1 日時** 令和8年10月10日（土）～12月6日（日）
- 2 場所** 茨城県立歴史館（水戸市緑町2-1-15）
2階ギャラリー
※開館時間：9：30～17：00（入館は16：30まで）

3 関連イベント

○ 小学生による常磐津公演・トークセッション

場所：当館講堂

日時：11月22日（日）13：30～15：30

○ ギャラリートーク

茨城大学生と写真家による解説・クイズなど

日時：11月3日（火・祝）、7日（土）、22日（日）

11：00～、13：00～（各回30分程度）



常陸大宮市 西塩子の回り舞台
（撮影：廣瀬泰成）

【本資料についてのお問い合わせ先】

茨城県立歴史館 管理部 広報・普及課 塙・木村

TEL 029-225-4425 E-mail: daihyou@rekishikan.museum.ibk.ed.jp